

あしよろ和牛生産基盤強化プロジェクトの取組

事業実施年度 令和6～10年度（5か年事業）

目 的

足寄町の黒毛和種生産振興を図るため「生産基盤確保」・「担い手育成」・「町内外へのPR」・「食育」等の事業を地域一体となって展開することで生産力・所得・知名度の向上を図る。

重点項目

- 生産基盤確保
- 担い手育成
- 足寄町内外へのPR・食育
- 全国和牛能力共進会に向けた取組

生産基盤確保

高能力牛早期選抜事業

- 雌産子のゲノミック評価を用いた「基本6形質」、並びに「オレイン酸含有量」、「新細かさ指数」の調査、及び高能力繁殖雌牛保留候補の早期選抜
- ゲノミック評価検査料の補助（町1/2以内）
令和8年度対象牛 約200頭
- 高能力判明の場合は、町内にて保留推奨
現畜確認し最終的に判断
- 検査条件等の設定

※早期発見という観点から、販売前には素牛としての評価が必要

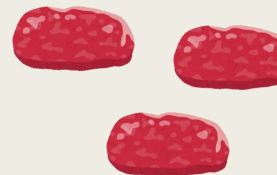


SNP情報

血統情報



産肉能力



ゲノミック評価

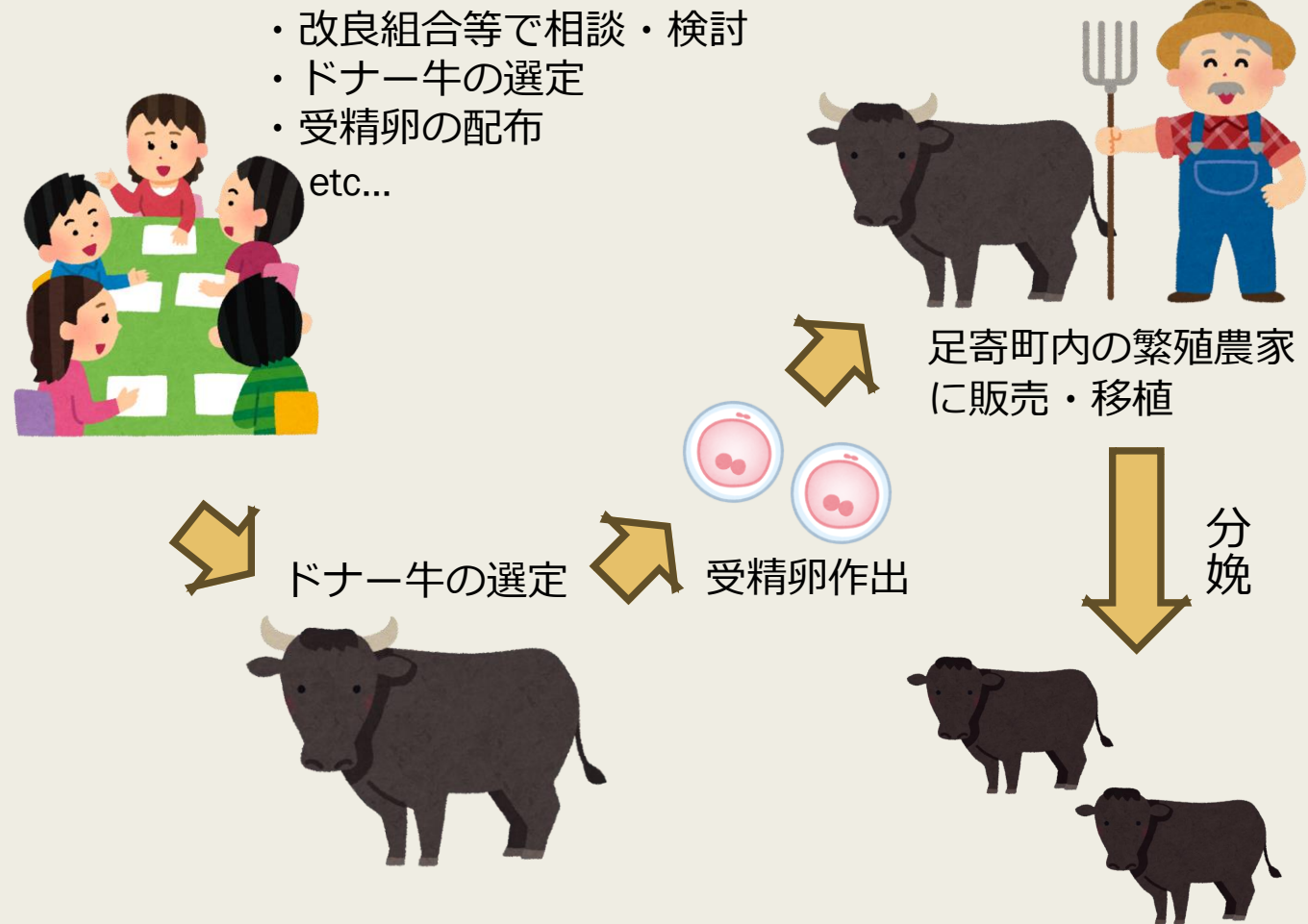
- 基本6形質
 - ・枝肉重量
 - ・ロース芯面積
 - ・バラの厚さ
 - ・皮下脂肪厚
 - ・歩留基準値
 - ・脂肪交雑基準値
- その他
 - ・新細かさ指数
 - ・オレイン酸値
 - ・MUFA値
(一価不飽和脂肪酸)

HSCの4段階評価

高能力繁殖雌牛受精卵採卵及び 受精卵利活用事業

事業の流れ

- 町内の高能力ドナー牛を選抜し採卵・移植、雌産子は自家保留して改良・更新・増頭を図り、雄産子は高能力産子として市場性が高く有利販売に繋げる。
- 採卵経費の補助
→前処理・採卵・精液・凍結費用等の採卵経費
- 受精卵代金の補助
受精卵代金
- 移植経費の補助
移植に関わる経費
- ドナー牛の選別方法、育種価公表、雌産子の場合は自家保留等条件付与



助成内容

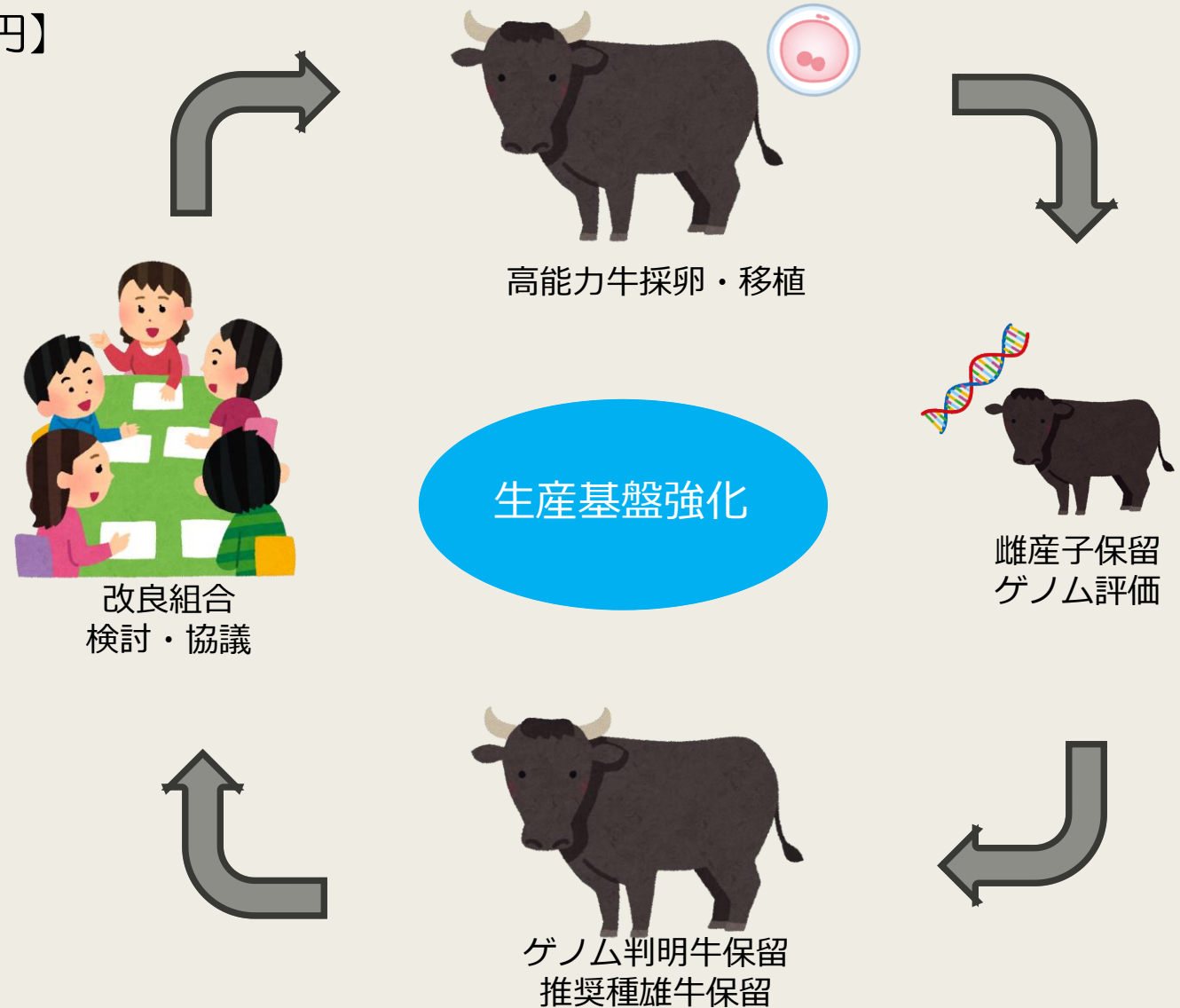
- | | |
|-------|----------------------|
| ①採卵経費 | 町全額補助 |
| ②受精卵代 | 町1/2以内（受益者1/4・JA1/4） |
| ③移植経費 | 町1/2以内（受益者1/4・JA1/4） |

♀産子は自家保留
♂産子は市場販売

生産基盤確保サイクル

高能力繁殖雌牛保留事業【R8 5,500千円】
JA事業

- 高能力繁殖雌牛からの産子やゲノム・育種価を用いた保留牛に対して補助
上記を用いた繁殖雌牛保留に対して
→ 50千円以内/頭 奨励金
- 足寄町和牛生産改良組合が推奨する種雄牛産子保留に対して補助
推奨種雄牛の保留に対して
→ 30千円以内/頭 奨励金

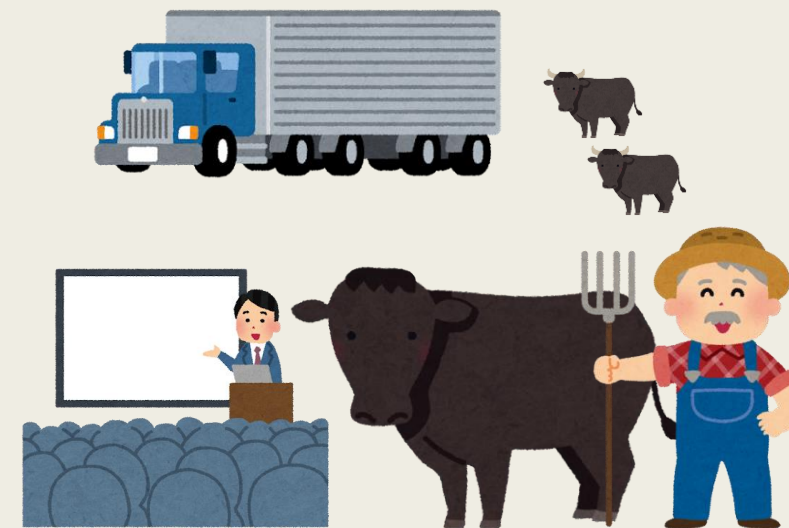


担い手育成

視察研修・集畜を伴う研修などに係る経費補助・研修会(講師謝礼含む)経費の補助(町1/2以内)

- ・集畜を伴う研修等に対する家畜輸送費の補助(町1/2以内)

※十勝・北海道共進会、全国共進会に係る選畜・予選・調教等の集畜を含む。



「町内外へのPR」・「食育」

- 「あしよ和牛」PR、地産地消を目的とした食育に係る経費への補助

- ・足寄和牛のPR

足寄町で肥育された和牛を買戻し、加工・還元販売を行う。

→新聞での足寄和牛PR折込チラシ配布

→足寄町のイベントにて町内還元用に牛肉の販売

- ・食育

足寄町で肥育された和牛を買戻し加工したものを食育として食材提供をする。

※R7は小・中・高校の全児童・生徒・教職員に給食でハンバーグ提供

※より広く足寄町の和牛を知ってもらうことを目的として総合学習の時間を活用。

☆枝肉買戻し代金への補助(町全額補助)



全国和牛能力共進会に向けた取組

● これまでの取組

- ・ 5年に1度開催される共進会に継続して出品。直近では、2022年大会で、種牛の部・繁殖雌牛郡において十勝勢として過去最高の評価を受け、優等賞3席の成績を残すなど、長年改良を重ねてきた結果が評価されている。
- ・ 2027年大会に向けて、本プロジェクト事業により、さらなる基盤強化からあしよ和牛のブランド力向上に取り組み、強くて魅力ある農業の推進と足寄町のPRを図る。

● 2027年全国和牛能力共進会北海道大会の取組

- ・ 出品者に係る経費
- ・ 出品牛に係る経費
- ・ 研修者に係る経費
- ・ その他事務費 に対する町補助





